

事務事業名	大東町地域福祉センター管理事業		所属部	大東総合センター	所属課	保健福祉課	
総合計画体系	政策名	〈Ⅲ〉地域で支えあうくらしづくり《保健・医療・福祉》		所属G	健康福祉グループ	課長名	大坂博宣
	施策名	〈21〉地域福祉の充実		担当者名	宮川容子	電話番号	0854-43-6142
	目的対象	市民	意図	地域で支えあう意識を高め、福祉活動を実施する。		(内線)	4014
	基本事業名	〈060〉地域で支えあう意識の高揚		予算科目	会計 款 大事業 大事業名	社会福祉施設管理事業	
目的対象	市民	意図	地域で支えあう意識を高める。		項 目 中事業 中事業名	大東町地域福祉センター管理事業	

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (16年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度～年度)
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	大東町地域福祉センターの管理を行い、利用者の福祉の向上を図る。(平成24年度～平成26年度は雲南市社会福祉協議会に指定管理。)

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動	24年度実績(24年度に行った主な活動) 指定管理団体への施設管理に関する監督・指導及び指定管理料の支払い。	25年度計画(25年度に計画する主な活動) 平成24年度と同様である。			
	② 活動指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	ア 監督指導回数	回	4	4	4	4
	イ					
	ウ					
	エ					

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	①施設利用者(貸館、デイサービス等) ②大東町地域福祉センター	ア デイサービス利用者	人	7,675	7,099	7,567	7,567
		イ 貸館利用者数	人	2,046	2,467	3,200	3,200
		ウ					
	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(実績)	25年度(計画)
	①安心安全に利用出来る ②適正に維持管理する	ア 施設利用による事故発生件数	件	0	0	0	0
		イ 地域の中で福祉ボランティア活動(見守り、声かけ等)をした市民の割合	%	23.0	23.4	24.9	24.9
		ウ 地域で自主的に企画・実践した福祉活動の参加延べ人数(地域福祉専門部の活動)	人	26,468	26,421	34,112	34,112

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (24年度決算)	② コストの推移	単位	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(決算)	25年度(計画)
指定管理料; 9,748,000円 修繕費用; 1,411,200円	財源内訳	千円				
	国庫支出金	千円				
	県支出金	千円				
	地方債	千円				
	その他	千円	6,046	6,041	6,190	6,180
	一般財源	千円	5,078	5,858	4,969	3,568
	事業費計(A)	千円	11,124	11,899	11,159	9,748
	人件費	人	1	1	1	1
	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
	延べ業務時間	時間	24	24	24	24
	人件費計(B)	千円	93	95	94	94
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,217	11,994	11,253	9,748

(5) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
毎年2～3件程度の修繕を行っている。建設から15年経過し耐用年数の問題もあるため、今後は計画的に更新工事や補修工事等を行っていく必要がある。	・指定管理者から施設内の修繕要望があり適宜行っている。 ・平成18年度から指定管理を行っている。	指定管理者から築後15年経過し施設内の修繕要望がある。

事務事業名	大東町地域福祉センター管理事業	所属部	大東総合センター	所属課	保健福祉課
-------	-----------------	-----	----------	-----	-------

2 事後評価【SEE】

A 目的 妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？ 意図することが結びついているか？		見直し余地があるとする理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている * 余地がある場合⇒																								
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して達成する目的か？																									
B 有効性	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか？意図を限定・拡充する必要はないか？																									
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である * 余地がある場合⇒																								
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？ 成果を向上させるため現在より良いやり方はないか？ 何が原因で成果向上が期待できないのか？																									
C 効率性	<input type="checkbox"/> 向上余地がある	理由	施設を適正に管理しており、安心安全に利用できている。																							
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない																									
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？		理由	施設には、デイサービス、共同作業所、大東図書館があり広く市民に利用されているため施設の廃止・休止した場合は福祉活動等に影響を与える。																						
<input type="checkbox"/> 影響無	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有																									
D 公平性	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか？ ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合⇒	(具体的な手段や類似事業名)																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない	高年齢者・障害者が利用する介護保険施設である。																								
A 目的 妥当性	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理施設であり、協定の3年間は指定管理料を変更できない。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
B 有効性	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか？ 正職員以外や外部委託ができないか？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 削減余地がある	指定管理なので人件費はない。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない																									
C 効率性	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？ 受益者負担が公平・公正か？		理由																							
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	誰でも利用できる施設であり公平公正である。																								
	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である																									
評価 の 総 括	① 1次評価者としての評価結果		② 1次評価結果の総括(根拠と理由)																							
	A 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	B 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
C 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		D 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		② 改革・改善による期待成果																								
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)		<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持		●	×																						
	低下		×	×																						
施設の管理方法としての指定管理は引き続き行う。		廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。																								

3 今後の方向性【PLAN】